

アーティスト「銀 MARO」さん 寄贈式・講演会を開催

問合先／学校教育課（☎0296・55・1198直通）

9月3日、水戸市を拠点に活動し、銀や漆喰などを使用した作品を制作しているアーティスト「銀 MARO」さんの作品寄贈式・講演会が真壁学園義務教育学校で開催されました。

この寄贈式・講演会は「大切なものは土の中プロジェクト」として、漆喰による作品の寄贈と自身の生き方を語る講演会を通して、子どもたち



寄贈のお礼を述べる大塚市長



寄贈された作品



生徒たちと記念撮影

が夢や目標を見つけ、幸せな人生を歩んでほしいという想いから、県内27市町村において実施されています。

大塚市長は「成長の中で大切なのは、失敗してもそこから何かを学び、もう一度前を向いて進んでいくことです。寄贈された作品が、皆さんの心の支えとなってくれることを願っています」と話しました。

災害時における応急対策業務等に関する 協定締結式を開催

問合先／防災課（☎58・5111・75・3111代表）

9月1日「防災の日」に、日本石材産業協会茨城県支部および日本石材産業協会と「災害時における応急対策業務等に関する協定」を締結しました。

本市は、石材業が地域を代表する産業の一つであり、市内には多くの墓石や石碑、モニュメントなどの石材構造物があります。災害時には、これらが倒壊・崩落し、道路や公共施設等の復旧活動の支障となることが想定されます。

本協定では、市からの要請に応じ、石材産業協会が、災害復旧活動の支障となる石材構造物の撤去・移設・廃棄を



協定を締結した大塚市長と二上昌弘副会長（左）、坂口登支部長（右）

☑災害時の連携を強化するために

- ①石材構造物の撤去・移設
災害復旧の妨げとなる墓石や石碑等を迅速に撤去・移設
- ②危険な石材構造物の情報提供
倒壊・崩落のおそれがある石材構造物共有
- ③専門的な知識・技術の活用
専門性を生かし、災害時の対応を支援
- ④防災教育・啓発への協力
自然災害伝承碑を活用した防災教育や啓発に連携

行うほか、崩落・倒壊のおそれがある石材構造物の情報提供などを行います。また、自然災害伝承碑を活用した防災教育・啓発についても連携して取り組みます。

今回の協定により、石材に関する専門的な知識や技術を有する石材産業協会との連携体制が構築され、災害時の迅速な対応や被害拡大の防止につながることが期待されます。平時からの連携を深め、地域の防災力向上や災害に強いまちづくりを進めていきます。

見晴らしの丘

真壁 坊 URIBOU

Makabe, Sakuragawa City, Ibaraki, Japan

注文住宅

リノベ

不動産

店舗内装

店舗建築

ご予約
お問い合わせ

0296-45-8988

〒300-4405 桜川市真壁町桜井1074-26

www.uribou.jp

建築・内装のことなら

TiC co.LTD.

The ideal community.

お問い合わせ

0296-55-0525

〒300-4423 茨城県桜川市真壁町塙世183-1

www.tic-world.jp